

平成30年 6月13日(水)

【北陸地域創生フォーラム～産業観光の進展に向けて～】

閉会挨拶

北陸地域連携プラットフォーム 座長 中村 信一

北陸地域連携プラットフォームの座長を務めております中村でございます。閉会にあたりまして、主催者を代表して、一言御挨拶申し上げます。

さて、当地を取り巻く社会・経済環境は、変化の最中にあります。全国に先駆けて「人口減少」というこれまで経験したことのない局面に直面しており、人手不足問題は喫緊の課題となっています。また、観光面では、北陸新幹線の開業によってマーケットは大きく変化しました。こうした環境の変化や困難に立ち向かうためには、地域の皆様方が自ら考え、行動することが最も重要であります。

本日は、産業観光の進展に向けて、須田様の基調講演や、丁野様をはじめ、パネリストの皆様のディスカッションを通じまして、産業観光には、人と人、人と産業、人と歴史、そして地域と地域を繋ぎ、そして未来を創造する、という大きな役割があることを、参加者皆様と共有できたものと思います。

また、北陸地域には、豊かな自然や歴史・文化、名所旧跡に加え、豊富かつ多様な産業資産が有り、産業観光に取り組む意義や可能性は大きいものと改めて認識するとともに、北陸に生きる私たちは、これまで、こうした豊かな資源に対して、ある面では甘え、また一方では、気づかず、眠らせてきたものも多いのではないかと思います。

今回、北陸地域連携プラットフォームでは、地域の産業そのものを「光」として捉え、産業観光の進展に向けて3つの提言と具体的な対応として7つの提案をいたしました。ただし、今回挙げた提言・提案はあくまでも一例でありますし、本日のフォーラムを通じまして、産業観光の魅力をさらに高め、地域の連携をさらに強めるためのヒントとして頂ければと思います。

引き続き、プラットフォームでは、産業観光の進展に向けた取組を深化させ

ながら、関係先への提案や地域間の連携に向けた取組を支援し、北陸地域の観光や産業の振興、地元定着の促進、地方創生に貢献してまいりたいと考えております。

最後に、産業観光への取組も含め、北陸地域においてさらなる連携と協働が広がっていくことを期待し、簡単ではございますが、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

以上